

令和6年3月田辺市長定例記者会見（市長コメント）

第34回南方熊楠賞について発表いたします。

私ども田辺市民の誇りである南方熊楠翁の偉業を称え、田辺市と南方熊楠顕彰会が平成2年に制定しました南方熊楠賞も、本日ここに第34回南方熊楠賞受賞者を発表する運びとなりました。

回を重ねるにつれて、本賞は「知の巨人」南方熊楠翁の名を冠した賞にふさわしいものに育ってきたと各界から高い評価をいただいております。

ご存知のように南方熊楠賞は、熊楠翁の研究対象であった、民俗学及び博物学関係の分野において国内外を問わず顕著な業績のあった研究者を、人文部門、自然科学部門から毎年交互に選考し、賞状・トロフィー・副賞をお贈りしております。

今回の南方熊楠賞は、人文の部より賞を贈ることとし、選考委員会において慎重なご審議をいただいた結果、奈良女子大学名誉教授で、文化人類学が専門の「松岡 悦子（まつおか えつこ）」先生に南方熊楠賞をお贈りすることに決定いたしました。

選考委員会においても、「現在の日本社会における最大の課題とも言える、妊娠・出産に関して、これまでの民俗学的研究を継承しつつ、家族やジェンダーの問題として取り上げ、さらに医療化にはらむ問題を、国際的な比較を通じて論じてきた。また、著書のほかに、論文も極めて多く、加えて看護学や助産学、社会学など多様な分野の研究誌に掲載されていることは、松岡氏の学術的インパクトの大きさを示している。」と評価されていることから、第34回南方熊楠賞にふさわしい受賞者であると、主催者としても喜んでいる次第です。

改めて、松岡先生に、心よりお慶びを申し上げます。

なお、受賞者の経歴並びに授賞式の詳細につきましては、このあと事務局から説明いたします。

最後に、本賞運営に際しまして、選考委員の先生方をはじめ、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、本賞が全国的、国際的な学術・文化の振興に一層寄与いたしますことを、心から願っております。